

勝山市広報

(第18号)

昭和30年8月28日発行

福井県勝山市役所広報企画課



昭和30年8月1日現在 勝山市の世帯数と人口	
世帯数	7,382
男	17,924
女	19,862
計	37,786

日本脳炎の発生は例年八月の中旬から始まり九月上旬、中旬が最盛期となり十月に入る期間もなく熱りをつけるのが定型となつてますが、今年は三月から全國あちこちに出はじめ、かなりの致命率を示しています。本県においては八月に入り武生市一、坂井郡一、大野市二名と既に当市においても四名の疑似患者が発生しており誠に憂慮に堪えないところであります。

これが感染源は蚊によつて媒介されるものと考えられており、それ以外に感染経路を説明し得る具体的な論証がなく、従つて日本脳炎の予防及び防疫は蚊の発生防止ならびに駆除を最も妥当な時期と範囲とに於て実施することにあります。又本病は各種伝染病中死亡率が最も高い疾患であり且つ死亡の大半は発病一週間以内に起つていて特に早期診断と早期の収容につとめ充分な治療看護を行われるよう叫団致します。

二、主 要 症 状

普通の場合発熱と共に悪寒を覚え頭痛、嘔吐悪心を訴え、又グリ、腹痛を伴うものと便秘する者の二通りの症状があります。精神症状としてはうどくよく眠る者や意識の混濁を表す者、又は性格の変調を表し怒り易くなつたり、落胆がなくなる者もあります。神經症候としてはけいれんや四肢関節痛等があり又青筋障害等をあらわす者も見られます。

日本脳炎は大抵の場合急激に発病し三と四日のうちにその主要症状を現わしているが、中には発病の前一と二日の間に頭痛があつたり全身がだるく丁度かるいクツツクツの様な症状が多いが時には三十日或いはそれ以上も続くことがあります。又三日位で下熱するものもたまにはあります。

日本脳炎は大抵の場合急激に発病し三と四日のうちにその主要症状を現わしているが、中には発病の前一と二日の間に頭痛があつたり全身がだるく丁度かるいクツツクツの様な症状があります。大抵の場合は六日と十日で下熱する者が多いが時には三十日或いはそれ以上も続くものもあります。又三日位で下熱するものもたまにはあります。

この病気の症状で最も特徴あるものは熱であります。大抵の場合は六日と十日で下熱する者が多いが時には三十日或いはそれ以上も続くことがあります。又三日位で下熱するものもたまにはあります。

日本脳炎は大抵の場合急激に発病し三と四日のうちにその主要症状を現わしているが、中には発病の前一と二日の間に頭痛があつたり全身がだるく丁度かるいクツツクツの様な症状があります。大抵の場合は六日と十日で下熱する者が多いが時には三十日或いはそれ以上も続くものもあります。又三日位で下熱するものもたまにはあります。

三、後 遺 症

『健康の家』表彰

一 二 四〇 世 帯

日本国民健康保険では昭和二十九年度の健民家庭を指き次の要領で表彰の上記念品を贈ります。

一、主官 調査機関の主旨の宣伝と納税意欲の向上と対応を訴ねる意味を以て「健康の家」の表彰を行い今後の調査機関の運営等に寄する目的とする。

二、抽出方法 昭和二十九年度国民健康保険税(料)完納者(昭和三十年五月三十一日迄に完納)にして昭和二十九年四月一日より三十年三月三十一日迄の中の国民健康保険による診療を受けなかつた家。

三、表彰

九月四日午前十時より表彰式

五、表彰式会場 勝山中学校

万才二組、歯芸一組、奇術一組を行なう予定

能的な症状として急性症状後に現われる運動精神障害があります。これは極度の痙攣をすぎ下熱、意識恢復して来た際にあらわれ始め、数年間は一生懲を遁じて居るものであります。

軽い者では四と五週間位で恢復することも多いため、それ以後までこの様な症状が続いた時これを後遺症と呼んでいます。この後遺症患者は罹患率の最も高い幼年、少年層では二〇と三〇%もあり、これは死亡者より高い率となっています。後遺症の症状としては軽い者は必ずしも後遺症から一生不具になつたりません。つまり日本脳炎にかかると、その半数の者が死亡するか後遺症で一生を不具で通さねばならぬかの悲しい運命を負わされることがあります。

○と三〇%もあり、これは死亡者より高い率となっています。後遺症の症状としては軽い者は必ずしも後遺症から一生不具になつたりません。つまり日本脳炎にかかると、その半数の者が死亡するか後遺症で一生を不具で通さねばならぬかの悲しい運命を負わされることがあります。

患者は罹患率の最も高い幼年、少年層では二〇と三〇%もあり、これは死亡者より高い率となっています。後遺症の症状としては軽い者は必ずしも後遺症から一生不具になつたりません。つまり日本脳炎にかかると、その半数の者が死亡するか後遺症で一生を不具で通さねばならぬかの悲しい運命を負わされることがあります。

四、予 防

日本脳炎の予防は個人的な予防と社会的な予防の二つに分けられます。この病原体は人の身体へ蚊によつて入るのであります。発病には必ずしも豚肉といふものがあつて日本脳炎の場合、暑い日の直射にあたりながら長時間野良仕事などをすることから、渡れて過労を起すと云う様なことが原因であり、又睡眠不足と云う様なこともその原因であると云われています。子供が炎天下で無帽で遊ぶことには大きな原因の一つです。従つて個人的には蚊にさされない様注意すると共に、調査となる肉体的な過労、睡眠不足、炎天下の遊戯などを避けねばなりません。社会的予防には蚊の撲滅と発生しない様な環境を作り上げることが理想的であります。徹底的に蚊の駆除作業を行ないましょう。(衛生課)

恐ろしい「日本脳炎」について

財政事情公表

昭和29年度勝山市一般会計歳入歳出予算並に取支状況一覧表

科 目	予算額	歳 入 の 部		全收入 歩 合	10月～3月 收 入 額	全收入 歩 合	收入額合計	全收入 歩 合	予算に対する 過 不 足
		9月收入額	歩 合						
① 市 稅	55,572,120	1,551,585	2.79	42,748,392	76.92	44,299,977	79.72	△ 11,272,143	
② 地 方 交 付 稅	10,335,000	1,831,000	17.72	8,504,000	82.28	10,335,000	100.00		
③ 公營企事業及被扶助收入	3,397,173	2,221	0.07	2,586,740	76.14	2,588,961	76.21	△	808,212
④ 分 扱 金 及 負 担 企 事 業	7,909,725	—	—	5,127,850	64.83	5,127,850	64.83	△	2,781,875
⑤ 使 用 料 及 手 数 料	2,064,470	338,980	16.42	1,758,410	85.18	2,097,390	101.60		32,920
⑥ 国 庫 支 出 金	25,040,321	705,700	2.82	21,395,942	85.45	22,101,642	88.26	△	2,938,679
⑦ 県 市 支 出 金	11,488,539	—	—	6,993,068	60.87	6,993,068	60.87	△	4,495,471
⑧ 附 金	2,243,000	—	—	2,524,846	112.57	2,524,845	112.57		281,846
⑨ 税 附 金	2,558,810	2,338,783	91.40	221,124	8.64	2,559,907	100.04		1,097
⑩ 税 附 金	4,219,333	138,380	3.28	2,355,354	55.82	2,493,734	59.10	△	1,725,599
⑪ 市	63,750,000	—	—	60,000,000	94.11	60,000,000	94.12	△	3,750,000
計	188,578,491	6,906,649	3.66	154,215,726	81.78	161,122,375	85.44	△	27,456,116

發行於勝山市役所
監製勝山市立報企圖課

科 目	予算額	歳 出 の 部						備考
		9月支出額	全支出し歩合	10月～3月全支出し歩合	支出額合計	全支出し歩合	予算残額	
議 会 費	5,110,535	42,400	0.83	4,633,951	90.67	4,676,351	91.50	434,184
市役所費	25,785,271	2,317,769	8.99	20,391,954	79.08	22,709,723	88.07	3,075,548
警察消防費	5,257,007	125,652	2.39	4,496,726	85.54	4,622,378	87.93	534,629
土木費	14,504,134	—	—	11,066,835	76.30	11,066,930	76.30	3,437,204
教育費	50,725,665	583,803	1.15	45,328,916	89.34	45,912,719	90.49	4,812,946
社会及労働施設費	18,992,590	1,012,828	5.33	15,536,204	81.80	16,549,032	87.13	2,443,558
保健衛生費	8,703,085	—	—	5,515,190	63.35	5,515,668	63.35	3,187,417
事業費	29,854,237	490	0.01	22,252,752	74.52	22,253,243	74.52	7,610,995
財政調整費	2,836,600	295,848	10.43	1,940,251	68.37	2,236,099	78.80	600,501
統計調査費	155,150	—	—	120,315	77.55	120,315	77.55	34,835
選舉準備費	1,155,028	—	—	817,481	70.78	817,481	70.78	337,547
公用費	4,176,612	268,372	6.43	3,908,240	93.58	4,176,612	100.00	—
諸支出	19,472,611	638,281	3.28	18,118,098	93.04	18,756,379	96.32	716,232
予備費	1,839,966	—	—	—	—	—	—	1,839,966
計	188,578,491	5,286,016	2.80	154,126,913	81.73	159,412,929	84.53	29,165,562

高現在現金收入時借入一次及財產公債償還

(1) 財産	貸付金	430,750円	(2) 公債	一般市債	41,000,000円
1 不動産の部(開帳台帳による)	造林	52,132,500円	1 公債資途別未返済額	計	125,141,779円
建物坪数 15,457坪5合6勺	口 学校基本財産		普通七木費	2,000,000円	2 公債借入先別未返済額
敷地坪数 29,772坪7合4勺	別 金	15,320円	疊葉七木費	8,300,000円	資金運用額
宅地坪数 20,178坪2合6勺	ハ 災災救助資金		災害七木費	4,416,251円	簡易保険局
山林面積(含併安林) 2,856町2反7畝8歩3合9勺	現 金	103,395円	都市計画費	1,500,000円	その他の
その他の土地面積 19町7反6畝25分	= その他の		教育費	17,742,568円	計
	現 金	18,110円	災害教育費	37,697,656円	3 公債借入利率別未返済額
2 基本財産の部			住宅建設費	4,524,569円	4 分 5厘
イ 市基本財産			消防費	2,860,735円	6 分 5厘
有価証券 419,820円			役所料金復旧費	900,000円	7 分
現 金 528,549円			保健衛生費	1,200,000円	7 分以上
			造林費	3,000,000円	計

「財政事情」の作成及公表に関する
規例によりますと、今回は昭和廿九年十一
月一日より昭和卅年三月卅一日迄の分
を公表する事になつております。併せて昭
和廿九年度の決算をも明らかにする事
になつておりますので、広報を以て市
民の皆様に次の通り公表致します。

前回の公表（昭和卅年二月廿八日発
行市広報第十号）では昭和廿九年九月
分だけを発表しましたが、今回はその
後、追加更生予算の議決と予備費の充
當により予算額及び収支歩合等が変つ

ておりますので御了承願います。
予算の執行状況については「別表一」に示す通り、昭和廿九年九月分に於ては收支歩合三・六六%に対し支出歩合二・八〇%となつており差引〇・八六%（一・六二〇・六三三円）の支出節約をなし、昭和廿九年十月以降分では年度末の義務的性質の支出が増加したが、収入を計り支出を抑制してとかく形だけでも黒字決算が出来る様苦心した結果、収入歩合八一・七八%に対し支出歩合八一・七三%となり差引〇・〇五%（八八・八一三円）の支出減を見、昭和廿九年度決算として総合しますと、歳入歳出の各款別は「別表二

一の通りでありますかが収入総額一六二、一二二、三七九円（収入歩合八五、四四%）に対し歳出歳額一五九、四二二、九二九円（支出歩合八四、五三%）となり差引一、七〇九、四四六円の歳越金となりました。亦、去る三月二十五日市議会の議決を経た「財政調整資金市起債の件」第三条による償還計画により、昭和卅年度以降五年に亘り市財政の再建を期すべく、当初卅年度一、〇〇〇万円を目標にスタートする事になつておりますので市民各位の御協力を特にお願ひ致します。

尙財源公債及び一時借入金について
は「別表二」のとおりであります。